

《担当者名》守田 玲菜 r-mori@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

病理学と共に病気への理解を深め、看護学の基礎を支える科目の1つである各臓器別の疾患に関する講義を中心にすすめる。成人病態と臨床実践I、II、IIIとともに、成人期に多い疾患について病態、病状の特徴、検査の方法、診断基準、治療法に関する基本的な知識を学習する。

【学修目標】

各臓器の疾患について学び、病気の成り立ちとそれによる身体の変化を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	呼吸器疾患 1	肺癌、感染性肺炎	守田
2	呼吸器疾患 2	上気道の疾患、悪性中皮腫、結核	守田
3	がん治療	がん治療の全体像、放射線療法、化学療法	守田
4	消化器疾患	肝の概要、急性・慢性肝炎、劇症肝炎、肝硬変、肝不全、肝細胞癌	守田
5	内分泌疾患 1	内分泌系の概要視床下部・下垂体疾患	守田
6	内分泌疾患 2	甲状腺・副甲状腺・副腎疾患	守田
7	造血器疾患 1	造血器の概要、貧血	守田
8	造血器疾患 2	貧血、出血性疾患	守田
9	腎・泌尿器系疾患 1	腎・泌尿器の概要、尿失禁、尿路感染、急性腎障害、慢性腎臓病	守田
10	腎・泌尿器疾患 2	慢性腎臓病、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群	守田
11	アレルギー疾患	免疫・炎症の概要、アレルギー疾患	守田
12	膠原病	膠原病の概要と主な疾患	守田
13	その他の全身性疾患	膠原病類縁疾患などのその他全身性疾患	守田
14	循環器疾患 1	先天性心疾患と合併症、肺梗塞、高血圧症	守田
15	循環器疾患 2	不整脈	守田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 90%、授業参加状況10%

【教科書】

看護のための臨床病態学改訂第5版・浅野嘉延 他・南山堂（成人病態と臨床実践I・II・IIIでも使用します）

【参考書】

「病気がみえる」シリーズ（メディックメディア）

【備考】

Google classroomにて授業スライドを供覧し、復習用資料や学習課題を提示します。

【学修の準備】

毎回、復習問題（小テスト）を出します。予習が望ましいですが、できない場合は必ず授業で触れた部分の教科書を熟読してください（予習復習1時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実

践的能力を身につけている。

【実務経験】

医師

【実務経験を活かした教育内容】

病院での医師としての経験から実践的教育を行う